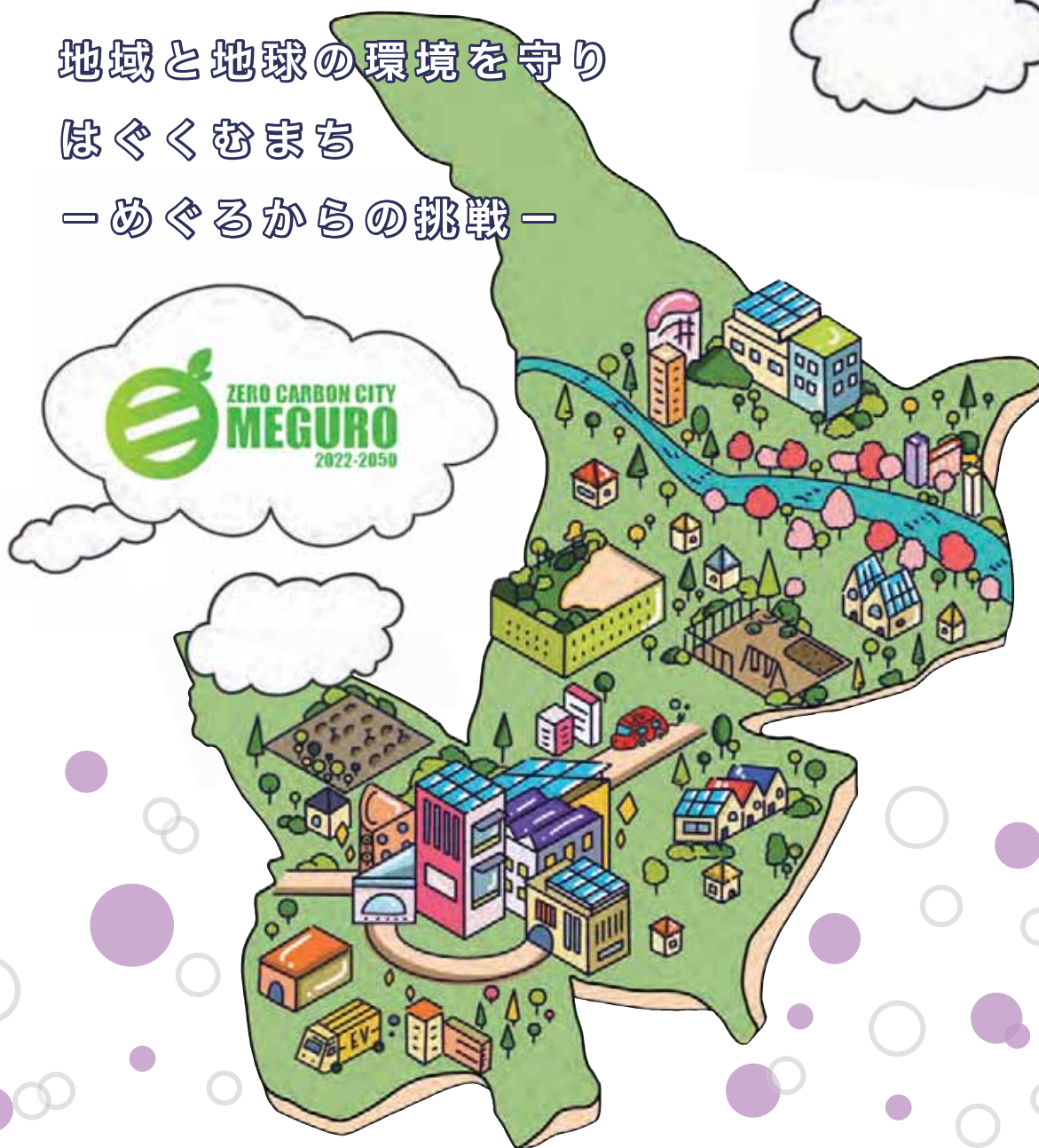


目黒区環境基本計画

概要版

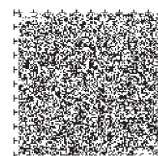
地域と地球の環境を守り
はぐくむまち
—めぐるからの挑戦—



2023(令和5)年3月
目黒区

音声コード「Uni-Voice」(ユニボイス) について

- ・各ページの角の位置に印刷された模様はユニボイスという音声コードです。
- ・スマートフォンのアプリや活字文書読上げ装置を使って音声で内容を聞くことができます。
- ・模様の印刷された部分には位置を分かりやすくするために切りかきを付けてあります。



目黒区環境基本計画の考え方

● 目的と位置付け

「目黒区環境基本条例」第8条に基づき、条例に掲げられた基本理念を実現するため、環境に関する長期目標と施策の方向を示し、区民、事業者、区のそれぞれが担うべき取組を明示するもので、「目黒区基本計画」の補助計画です。

また、「地球温暖化対策の推進に関する法律」第21条に基づく「地方公共団体実行計画（区域施策編）」、「気候変動適応法」第12条に基づく「地域気候変動適応計画」を包含した計画となっています。

本計画の推進にあたっては、SDGsの達成に貢献し、環境・経済・社会をめぐる様々な課題の解決に資するように取組を実施します。

● 計画の期間

2023（令和5）年度から2032（令和14）年度までの10年間です。社会状況の変化等に応じて、概ね5年を目途に中間見直しを行います。

● 計画の対象範囲

脱炭素社会 気候変動への 適応

省エネルギー、再生可能エネルギー、
脱炭素型まちづくり、
気候変動への適応 など

循環型社会

ごみの発生抑制・資源の再使用・
資源の再生利用（3R）、資源循環、
食品ロス、プラスチックごみの削減 など

環境教育 環境学習 環境活動

環境教育・環境学習、
環境活動、パートナーシップ、
環境情報 など

自然共生社会

みどり・水辺、生物多様性、
水循環 など

生活環境

公害防止、まちの美化、
身近な生活環境問題 など

● 計画の担い手

区民

- 日常生活において、環境に配慮した取組を実践する。
- 区や事業者とのパートナーシップでの取組に参加・協力する。

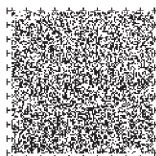
事業者

- 事業活動において、環境負荷の低減に努め、環境に配慮した取組を実践する。
- 区や区民とのパートナーシップでの取組に参加・協力する。

パートナーシップで計画を推進

区

- 区の事務事業における環境に配慮した取組を積極的に実践する。
- 本計画の施策の確実な推進と進行管理を行う。
- パートナーシップでの取組推進のための基盤整備を行う。



● 計画改定にあたっての視点

● 2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた計画

昨今の気候変動を取り巻く社会情勢を気候変動危機と捉え、2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた未来戦略を示し、2030（令和12）年までを重要な取組加速期間として位置付け、対策の強化を図ります。

● 気候変動に適応するレジリエントなまちづくり

区民・事業者の安全・安心な生活や経済活動を守るため、多様なリスクに対応できるよう、グリーンインフラや自立・分散型のエネルギーなども有効に活用するレジリエントなまちづくりの方向性を盛り込みます。

● SDGsの達成に寄与する環境・経済・社会の統合的な課題解決に向けた計画

環境対策は直接的な効果だけでなく、地域の防災・減災や経済活性化など、地域の経済や社会などの様々な課題解決へとつながります。複数の異なる課題の解決へとつながる部門横断的な施策を盛り込みます。

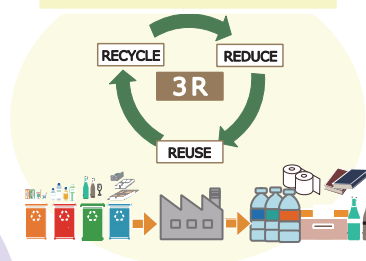
目指すべき環境像

地域と地球の環境を守りはぐくむまち — めぐるからの挑戦 —

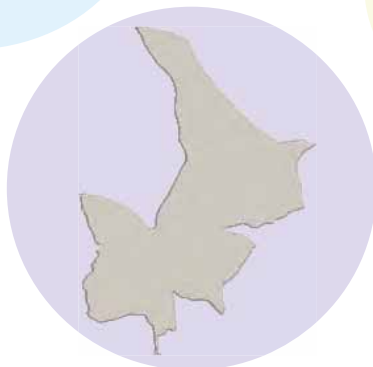
カーボンニュートラル



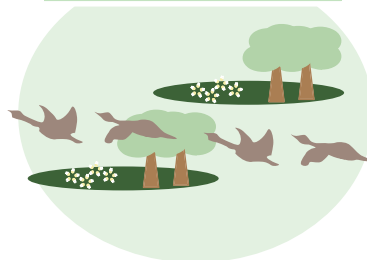
循環型社会



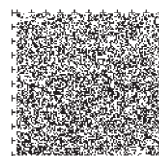
パートナーシップ



豊かなみどり



安心・快適な生活環境



● 2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた3つの目標

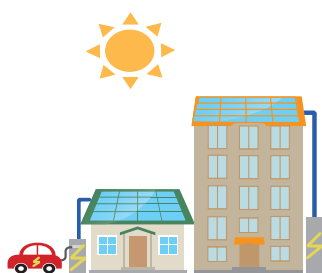
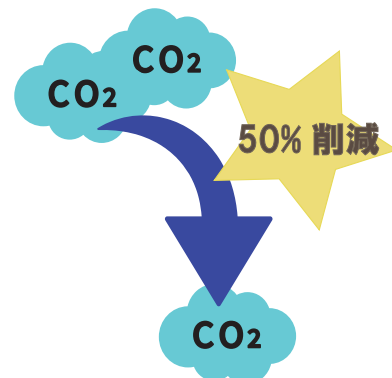
2030年度二酸化炭素排出量削減目標

2030（令和12）年度までに
2013（平成25）年度比で50%削減

2013年度の排出量：1,179,000 t-CO₂



2030年度の排出量：589,500 t-CO₂



2032年度再生可能エネルギー導入目標

2032（令和14）年度までに
導入容量（累計）約30,000 kW

※FIT認定容量に基づく目標値。2021（令和3）年度までの累計と比べて3.5倍に相当。

2032年度区の事務事業における温室効果ガス排出量削減目標

2032（令和14）年度までに
2013（平成25）年度比で60%削減

2013年度の排出量：23,627 t-CO₂-eq



2032年度の排出量：9,451 t-CO₂-eq

